

あぶしん景況レポート

2022年1～3月期



あぶくま信用金庫
総合企画部

Vol.7 2022.4 発行

当地区の概況

【業種別天気図】

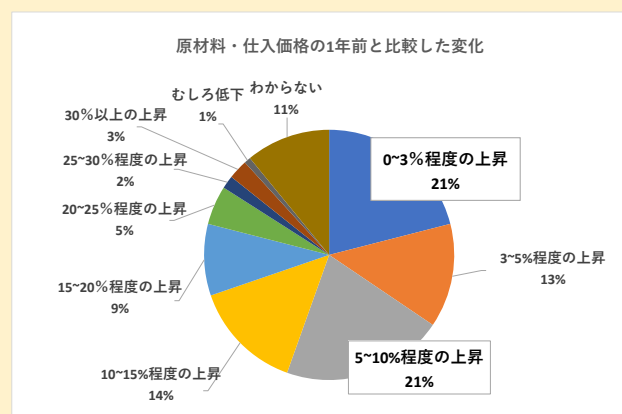
調査対象:120社

業種別	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
2021年 10～12月								▲ 20.0
2022年 1～3月								▲ 30.0
2022年 4～6月 (見通し)								▲ 22.5

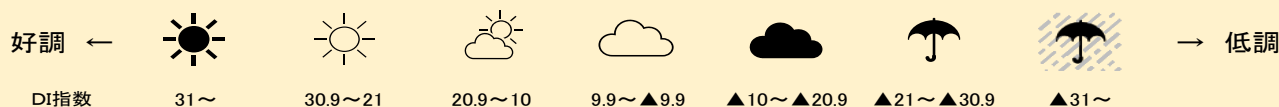
- 2022年1～3月期(今期)の業況判断D.I.は▲30.0と、前期比10.0ポイントの悪化となった。業種別にみると、製造業が前回D.I.から30ポイントの悪化、サービス業が前回D.I.から20ポイントの悪化となった。建設業の今期D.I.は、過去最低の▲28.6となった。
- 2022年4～6月期(来期)の予想業況判断D.I.は▲22.5と、今期比7.5ポイントの改善を見込んでいる。業種別では、サービス業が20.0ポイントの改善を見込んでいる。

特別調査 - 原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について -

- 原材料・仕入価格の1年前と比較した変化は、「0～3%程度の上昇」、「5～10%程度の上昇」と回答した割合が21%と最も高くなった。業種別では、「10%以上の上昇」と回答した割合は、サービス業で15%、小売業で43%、製造業で45%、卸売業では50%となった。



【業況判断天気図】



業況判断D.I指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

詳しくは<あぶしん>
各支店へ！



携帯・スマートフォンの方はQRコードを！
情報満載、ホームページをご覧ください。

あぶしん <http://www.abukuma.co.jp/>



製造業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	40.0	40.0	10.0	10.0	20.0
	実績	0.0	25.0	30.0	30.0	15.0	▲ 20.0
来期 (4-6月)	予想	0.0	15.0	65.0	10.0	10.0	▲ 5.0

業況判断 D. I. は前回のプラス指標から一転し、今期(実績) ▲20.0 となった。一部からは新規取引先が増加したとの声も聞こえていたが、D. I. 改善には至らなかった。また、今後の原材料費高騰を懸念する声が上がっている。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 原材料高	55.0%	40.0%
2 利幅の縮小	45.0%	25.0%
3 売上の停滞・減少	40.0%	45.0%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	55.0%	40.0%
2 経費を節減する	45.0%	45.0%
3 人材を確保する	35.0%	35.0%

卸売業

業況判断D. I.

調査対象：18社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (1-3月)	予想	5.6	16.7	44.4	27.8	5.6	▲ 11.1
	実績	0.0	16.7	33.3	33.3	16.7	▲ 33.3
来期 (4-6月)	予想	0.0	16.7	33.3	38.9	11.1	▲ 33.3

業況判断 D. I. は、前回実績と変わらず今期(実績) ▲33.3 となった。依然として新型コロナウイルスの影響が濃く、仕入先の見直しなど努力はしているが、厳しい状況が続いているとの声が聞かれた。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	61.1%	55.6%
2 利幅の縮小	55.6%	33.3%
3 同業者間の競争の激化	33.3%	44.4%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	77.8%	50.0%
2 情報力を強化する	50.0%	38.9%
3 経費を節減する	44.4%	33.3%

小売業

業況判断D. I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	4.8	52.4	33.3	9.5	▲ 38.1
	実績	0.0	14.3	19.0	52.4	14.3	▲ 52.4
来期 (4-6月)	予想	0.0	9.5	33.3	47.6	9.5	▲ 47.6

業況判断 D. I. は、前回の予想から大幅に悪化し、今期(実績) ▲52.4 と再び過去最低の数値となった。予想よりも売上の回復時期がずれ込んでいるという声や、仕入価格の上昇など、業況は厳しい見方が続いている。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	47.6%	47.6%
2 利幅の縮小	33.3%	23.8%
3 人手不足	28.6%	42.9%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 経費を節減する	47.6%	28.6%
2 人材を確保する	23.8%	28.6%
3 売れ筋商品を取扱う	19.0%	14.3%

サービス業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (1-3月)	予想	5.0	10.0	40.0	35.0	10.0	▲ 30.0
	実績	0.0	10.0	40.0	30.0	20.0	▲ 40.0
来期 (4-6月)	予想	0.0	10.0	60.0	15.0	15.0	▲ 20.0

業況判断 D. I. は今期(実績) ▲40.0、来期(予想)は▲20.0 となった。新型コロナウイルスの影響を受けやすい飲食業・接客業においては、経費節減を図りながら売上げの回復を待つ厳しい状況が続いている。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	65.0%	50.0%
2 同業者間の競争の激化	40.0%	15.0%
3 材料価格の上昇	35.0%	20.0%
3 人件費の増加	35.0%	40.0%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	60.0%	35.0%
2 経費を節減する	50.0%	35.0%
3 人材を確保する	30.0%	35.0%
3 宣伝・広告を強化する	30.0%	30.0%

建設業

業況判断D. I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (1-3月)	予想	9.5	9.5	42.9	38.1	0.0	▲ 19.0
	実績	4.8	9.5	42.9	42.9	0.0	▲ 28.6
来期 (4-6月)	予想	9.5	9.5	33.3	38.1	9.5	▲ 28.6

業況判断 D. I. は、今期(実績)、来期(予想)ともに▲28.6 となり、過去最低となった。前回の経営課題としてあがった「材料価格の上昇」が、今回「利幅の縮小」につながり、D. I 悪化の一因になったとみられる。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 利幅の縮小	52.4%	28.6%
2 売上の停滞・減少	47.6%	57.1%
3 人手不足	42.9%	52.4%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	57.1%	66.7%
1 経費を節減する	57.1%	57.1%
3 人材を確保する	52.4%	52.4%

不動産業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (1-3月)	予想	5.0	20.0	60.0	15.0	0.0	10.0
	実績	5.0	5.0	75.0	10.0	5.0	▲ 5.0
来期 (4-6月)	予想	5.0	5.0	80.0	5.0	5.0	0.0

業況判断 D. I. は今期(実績) ▲5.0 となり、前期(実績) ▲10.0 から 5.0 ポイント改善した。他業種に比べ、新型コロナウイルスの影響が少ないことから、売上が維持できているとみられる。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 同業者間の競争の激化	30.0%	30.0%
2 売上の停滞・減少	25.0%	35.0%
3 利幅の縮小	20.0%	25.0%
3 人手不足	20.0%	10.0%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 情報力を強化する	45.0%	20.0%
2 経費を節減する	25.0%	45.0%
3 不動産の有効活用を図る	20.0%	15.0%

全国の概況

【全国業種別天気図】

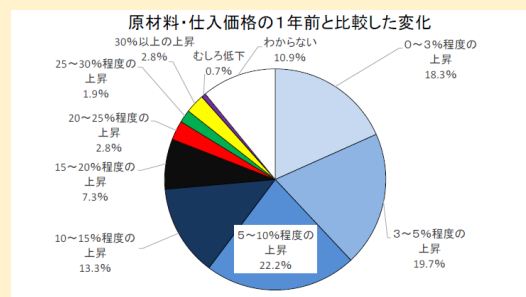
回答社数:13,628社

		総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
全国	2021年 10~12月	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☁	▲ 19.7
	2022年 1~3月	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☁	▲ 27.6
	2022年 4~6月 (見通し)	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☁	▲ 24.8
東北	2022年 1~3月	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☁	▲ 36.5

- 全国の2022年1~3月期（今期）の業況判断D.Iは▲27.6、前期比7.9ポイント悪化と、4四半期ぶりに悪化した。2022年4~6月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲24.8と、今期実績比2.8ポイントの改善を見込んでいる。
- 東北地区の2022年1~3月期（今期）の業況判断D.Iは▲36.5と、前期比15.0ポイントの大幅な悪化となった。2022年4~6月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲38.7となり、今期実績比2.2ポイント悪化する見通しとなった。

特別調査 - 原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について -

- 原材料・仕入価格の1年前と比較した変化は、「5~10%程度の上昇」と回答した割合が22.2%と最も高く、全体の6割強の企業で仕入価格上昇は10%以下となった。
- 業種別では、製造業、卸売業、建設業で価格が上昇したとの回答が比較的多くみられた。とりわけ、建築資材や燃料関連などの業種で、上昇したとの回答割合が高かった。



全国の調査員からのコメント

- 仕入先の変更は納入先からの承認が必要なため安易にはできず、仕入価格値上げを受け入れざるを得ない。（自動車部品製造、長野県）
- ウクライナ情勢を受けて、さらなる価格上昇を見込む。調達遅延や数量確保困難もありうる。（小麦粉製造、北海道）

【調査要領】

1. 調査時期 2022年3月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断D.I.は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員20人未満の企業が約7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。